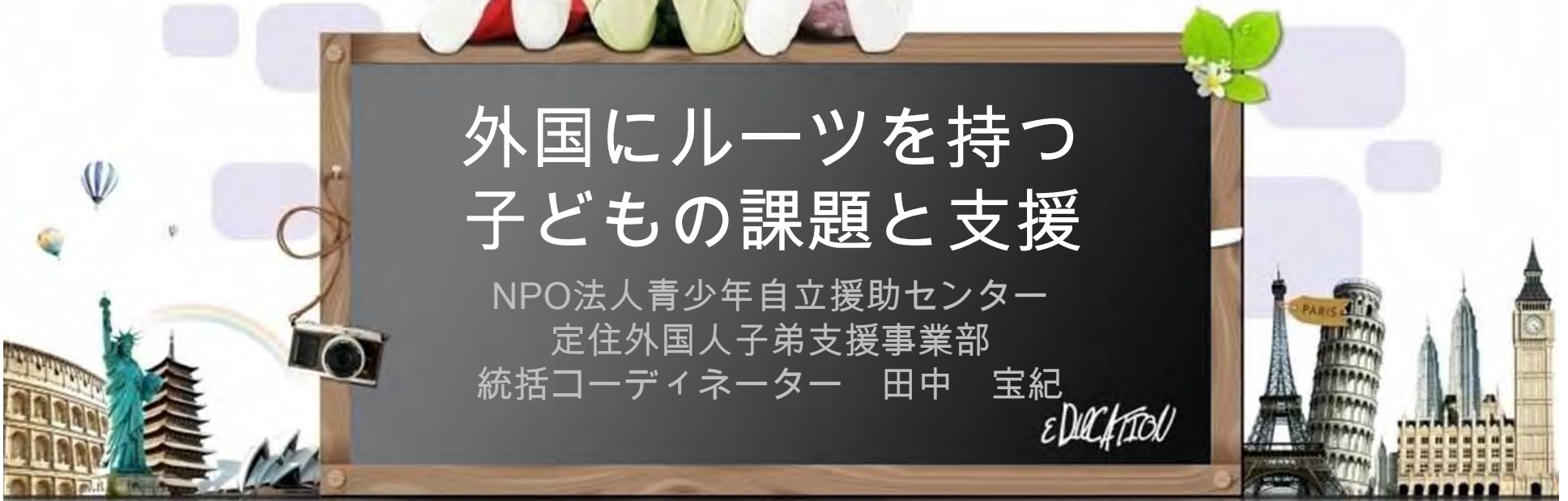




外国にルーツを持つ 子どもの課題と支援

NPO法人青少年自立援助センター
定住外国人子弟支援事業部
統括コーディネーター 田中 宝紀

EDUCATION



NPO法人青少年自立援助センター 事業概要

あだち／いたばし／高知黒潮／
多摩／八王子若者サポース
テーション

(厚生労働省委託事業: 足立区／板橋区／高知
県／福生市)

他

セーフティネット足立 (足立区委託)
アウトリーチ研修事業 (内閣府委託)
若者社会参加支援事業「コンパス」
(東京市委託事業)

ひきこもり
支援事業

ニート
支援事業

1999年前身である「タメ塾」からNPO法人化
社会的に困難を抱えるあらゆる若者
の自立支援で30余年の実績

本部: 東京都福生市

定住外国人
子弟支援事業

福生定住外国人の子どもの
就学支援事業
(文部科学省委託)

知的障害者グループホーム
「きんもくせい第一～第三」
障害者ワンストップサービス
(東京市委託事業)

福祉的
支援事業

グローバル・スクール(自主
事業)
全日制高校進学進学支援
(自主事業)

定住外国人子弟支援事業部

- 2010年4月発足
- 外国にルーツを持つ子どもと若者の教育・就労をサポート

教育支援事業

就学・復学支援

- (文部科学省・国際移住期間委託「定住外国人の子ども」の就学支援事業)

学習支援

- グローバル・アフタースクール(放課後支援)
- グローバル・サタデースクール(土曜日支援)

進学支援

- 全日制進学支援コース

自立・就労支援事業

語学学習

- 初級日本語講座
- JLPT対策講座

就労支援

- 金銭教育ワークショップ
- ITスキルUP講座
- 就活セミナー
- 個別相談
- 就労日本語講座

外国にルーツを持つ子どもとは・・・

「国籍にかかわらず、父・母の両方、またはそのどちらかが 外国出身者である子ども

外国籍の子ども

日本国籍
(二重国籍)の
子ども

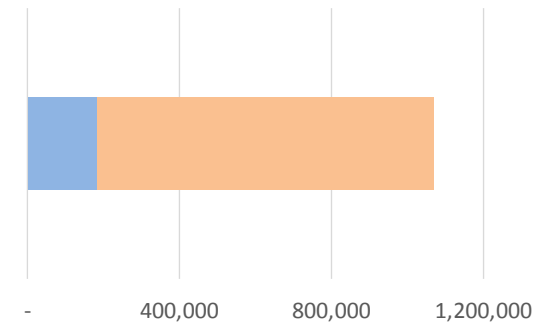
無国籍の子ども

外国出身の保護者
と共に暮らす子ども

外国人登録

子ども 18万人、若者88万人

外国籍子ども・若者数(0歳～34歳)



子ども(0～14)	182,988
若者(15～34)	884,594

法務省(在留外国人統計2011より作成)



● 親元で暮らす子どもの6.9%(約179万人)は外国人の親と暮らしています。

➢「外国人登録人口」には反映されない
「外国にルーツを持つ子ども」「見えない子ども」を含む

親の国籍別、55歳未満の母と同居する子の人口および55歳未満の父と同居する父子家庭の子の人口 (2005年)
 (単位：人)

		父 (全 年 齢) の 国 籍								
		日本	韓国・朝鮮	中国	フィリピン	タイ	ブラジル	ペルー	他(含不詳)	(母子のみ)
55歳未満の母の国籍	日本	<u>24,188,569</u>	<u>33,755</u>	<u>8,582</u>	1,274	624	2,732	1,373	33,517	(1,193,413)
	韓国・朝鮮	<u>35,201</u>	<u>69,036</u>	80	0	51	40	10	251	(11,006)
	中国	<u>34,483</u>	312	<u>30,150</u>	0	0	40	0	330	(3,384)
	フィリピン	<u>74,109</u>	211	31	3,232	0	553	132	508	(8,202)
	タイ	<u>11,534</u>	71	0	0	517	111	10	51	(734)
	ブラジル	4,885	0	0	10	20	<u>40,460</u>	503	354	(2,230)
	ペルー	1,431	0	0	0	0	401	8,595	312	(611)
	他(含不詳)	24,564	100	70	51	41	150	212	17,226	(1,994)
	(父子のみ)	(131,864)	(858)	(230)	(80)	(10)	(301)	(40)	(281)	—

注：一人親家庭の子どもは全員20歳未満だが、それ以外の家庭の子は20歳以上の者を含む。「子ども3人以上」の親には3.1人の子がいと仮定して集計。出典：2005年国勢調査オーダーメイド集計。

出典：「2005年国勢調査に見る外国人の教育」、岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要第35号(2013.3)、p64より引用



支援実績

<支援エリア(福生教室のみ)>

福生教室:東京都福生市、羽村市、青梅市、奥多摩町、瑞穂町、あきる野市、昭島市、立川市、国分寺市、八王子市、府中市、町田市、埼玉県入間市、新座市、神奈川県相模原市

<受益者数>

年間100余名

就学・復学率 85%

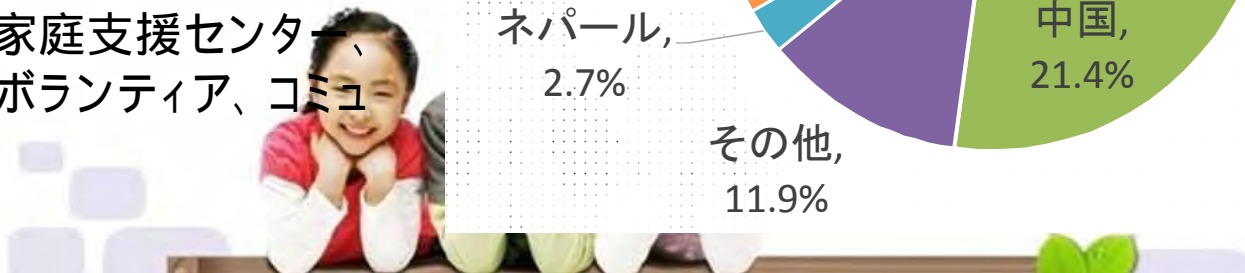
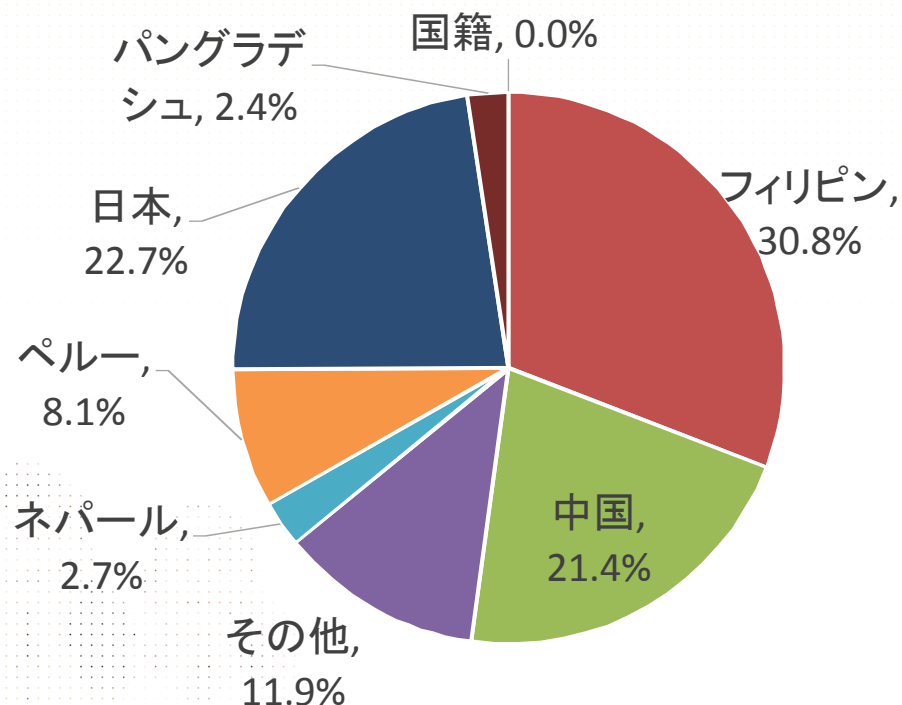
高校進学率 97%

<協力連携機関>

各市区町村教育委員会、福祉課、生徒在籍小中学校、特別支援学校、スクールソーシャルワーカー、ケースワーカー、子ども家庭支援センター、地域外国人支援ボランティア、コミュニティ通訳など



在籍生徒国籍内訳
2010-July2014、n=295



外国にルーツを持つ子どもの現状

ことば

学習機会／
学習支援機
関が不足し
ている

日本語の力
が不十分
(生活言語
／学習言
語)

母語発達支
援機会が不
足

母語喪失
ケースの場
合、保護者
との会話が
成立しない



- 日本語指導が必要な児童生徒は
外国人**27,000人**、
日本国籍児童生徒**6,100人**いる

図1 日本語指導が必要な外国人児童生徒数

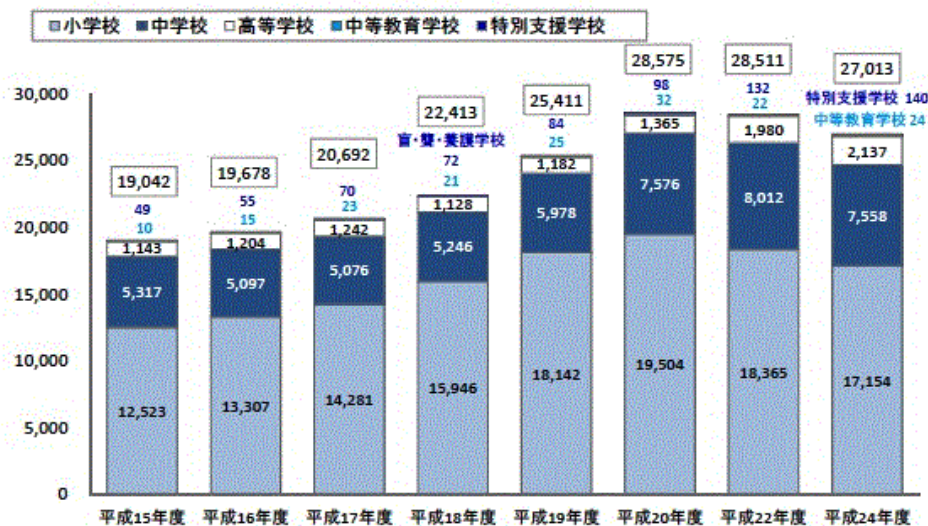
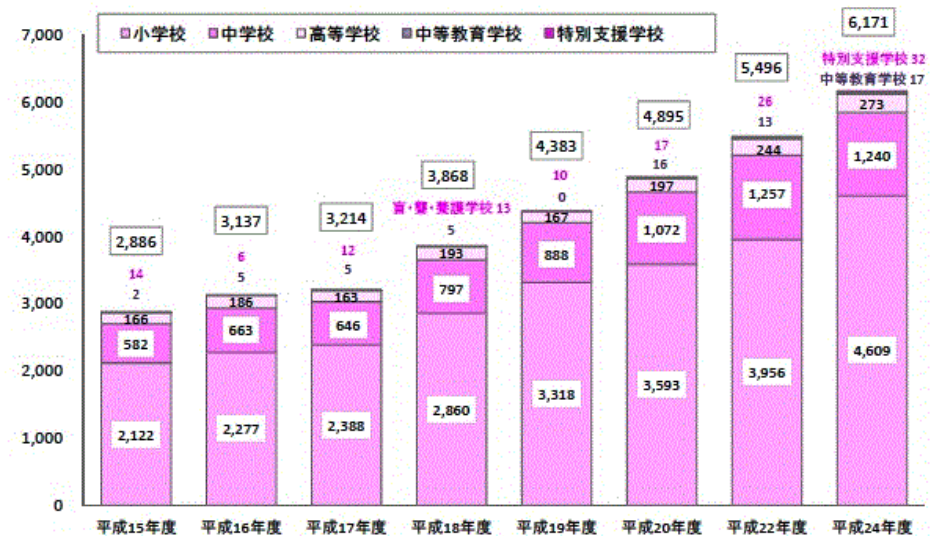


図2 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数



出典: 文部科学省『「日本語指導が必要な児童生徒の受入れ状況等に関する調査(平成24年度)」の結果について』より引用

「日本語」は「生活言語」と「学習言語」から成り、
学校での学習等に必要な学習言語の獲得には5年～7年を要する(カミンズ)
➤ **日本語の会話が成立する、だけでは不十分**